

世 界 史

第 1 問

内陸アジアに位置するパミール高原の東西に広がる乾燥地帯と、そこに点在するオアシス都市は、ユーラシア大陸の交易ネットワークの中心として、様々な文化が交錯する場であった。この地は、トルコ化が進むなかで、ペルシア語で「トルコ人の地域」を意味するトルキスタンの名で呼ばれるようになった。トルキスタンの支配をめぐり、その周辺の地域に興った勢力がたびたび進出してきたが、その一方で、トルキスタンに勃興した勢力が、周辺の地域に影響を及ぼすこともあった。

以上のことを踏まえて、8世紀から19世紀までの時期におけるトルキスタンの歴史的展開について記述せよ。解答は解答欄(イ)に20行以内で記し、次の8つの語句をそれぞれ必ず一度は用い、その語句に下線を引くこと。

アンカラの戦い

カラハン朝

乾隆帝

宋

トルコ＝イスラーム文化

バーブル

ブハラ・ヒヴァ両ハン国

ホラズム朝

第 2 問

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(□)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教が支配宗教となった地域や国家では、民族や出自にかかわらず、宗教を第一とする統治体制が敷かれることが多かった。そこでは、啓典『クルアーン(コーラン)』と預言者ムハンマドの言行がもとなったイスラーム法が重視された。このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

(a) 最古の成文法の一つであるハンムラビ法典は、イスラーム法にも影響を与えたとされる。この法典が制定された時期と、その内容の特徴を、2行以内で説明せよ。

(b) 14世紀に北アフリカの諸王朝に仕え、『世界史序説(歴史序説)』を著して王朝の興亡の法則性を説いた学者の名前を記せ。

(c) 1979年のイラン革命では、イスラーム法に通じた宗教指導者(法学者)ホメイニらが中心となり、それまでのイランで推進されていた政策を批判した。このとき批判された政策について、2行以内で説明せよ。

問(2) 中世から近世にかけてのヨーロッパでは、多くの国が君主を頂点とする統治体制のもとにあった。君主の権力に関しては、それを強化することで体制を安定させようとする試みや、それが恣意的にならないよう抑制する試みがみられた。このことに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) 大憲章(マグナ=カルタ)が作成された経緯を、課税をめぐる事柄を中心に、4行以内で説明せよ。

(b) マキアヴェリが『君主論』で述べた主張について、2行以内で説明せよ。

問(3) 19世紀末の清では、日清戦争における敗北を契機に、国家の存亡をめぐる危機意識が高まった。この結果生じた運動について、以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) この運動の中心となり、後に日本に亡命した2名の人物の名前を記せ。

(b) この運動の主張と経緯を4行以内で説明せよ。

第 3 問

戦争や軍事的な衝突は、国際秩序や権力のあり方を大きく変えただけでなく、人々の生活や意識にも多大な影響を与えてきた。このことに関連する以下の設問(1)~(10)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教成立以前のアラビア半島には、エチオピア高原を拠点とする王国が紅海を渡ってたびたび侵攻し、イエメン地方に影響力を及ぼしていた。4世紀にキリスト教を受容したこの王国の名称を記せ。

問(2) 1096年に遠征を開始した十字軍は、エルサレム王国などの十字軍国家を建設した。当初、イスラーム勢力の側は地方勢力の分立により、十字軍に対抗することができなかった。しかし、13世紀末になって十字軍の最後の拠点アッコン(アッコ、アッカー)が陥落し、十字軍勢力はシリア地方から駆逐された。このときアッコンを陥落させた王朝の名称を記せ。

問(3) 1511年にポルトガルはマラッカを占領した。マラッカは東南アジアの海上交易の一大中心拠点であったため、ムスリム商人たちは拠点をマラッカから移動させて対抗し、東南アジア各地の港に新たな交易中心地が発展することになった。こうして新たに発展した交易港のうち、スマトラ島北西部にあり、インド洋に面した港市の名前を記せ。

問(4) 16世紀、アメリカ大陸に進出したスペイン人征服者たちは、多数の先住民を殺害し、現地の社会を破壊した。また、彼らは征服地の農園や鉱山などで先住民に過酷な労働を強制した。スペイン人征服者のこのような行為を告発し、先住民の救済を訴えて『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著した人物の名前を記せ。

問(5) プロイセンは、ナポレオン軍に敗れて首都を制圧され、フランスとの過酷な内容の講和条約の締結を余儀なくされた。国家存亡の危機を目の当たりにして、連続講演「ドイツ国民に告ぐ」をおこない、国民意識の覚醒を訴えた哲学者の名前を記せ。

問(6) ヨーロッパ諸国も加わった多国間戦争のさなか、ナイティンゲールは 38 名の女性看護師とともにオスマン帝国に派遣され、その首都イスタンブールの対岸にある傷病兵のための病院で、看護体制の改革に尽力した。この戦争でオスマン帝国側に立って参戦した国のうち、サルデーニャ以外の 2 か国の名を記せ。

問(7) 南北戦争後のアメリカ合衆国では、北部を中心に工業発展がめざましく、西部も開拓によって農業が発展した。合衆国の東西を結んで人・物・情報の流れを促し、経済発展に大きく寄与した鉄道は何と呼ばれるか。その名称を記せ。

問(8) 第一次世界大戦に敗れたドイツでは、帝政が崩壊し、当時、世界で最も民主主義的といわれたヴァイマル憲法を擁する共和国が成立した。この憲法は、代議制民主主義の弱点を補うというねらいから、国民に直接立法の可能性を与え、同時に国民の直接選挙で選ばれる大統領に首相任免権や緊急措置権など大きな権限を与えていた。世界恐慌のさなか、1932 年に大統領に再選され、翌年にヒトラーを首相に任命した人物の名前を記せ。

問(9) 1945 年 8 月 14 日、日本はポツダム宣言を受諾して降伏した。翌 15 日には昭和天皇がラジオを通じてポツダム宣言受諾を国民に明らかにした。その日本の占領下にあったインドネシアでは、8 月 17 日にインドネシア共和国の成立が宣言されたが、この宣言を読み上げ、インドネシア共和国の初代大統領となった人物の名前を記せ。

問(10) 第 3 次中東戦争の結果、イスラエルは占領地をさらに拡大させ、それによって多数の難民が新たに発生した。一方、占領地に残ったパレスチナ人住民のあいだで、1987 年末から投石などによるイスラエルに対する抵抗運動が始まった。この抵抗運動の名称をカタカナで記せ。